





近し高(166とツ後雨  
にらく※いたポのな  
山りな※いッこ様  
チ登も山着ポ、雨、じ  
ッ、りチに、か同  
ボき登ッにんわ回  
高づいボ4m)たに数



いてアエのぎッ頂  
イっがマ水過ゲ山  
が思うマ？山碑レッ  
方てまり？山碑レッ  
るっしタか若歌てぐ

短な。け戻い、んるか  
も障た。だへ早て見  
れ支っだ2Pはあうて、  
何ぼだ写真第にあよって、  
うほい幸合て昼もひ行に  
うで幸合て昼もひ行に  
遭時間集撮るこ先池こ  
に時し撮るこ先池こ



縫って鳥居をくぐ  
を。にも吹も山のて差てに  
に出る。ガス風けな証をの戻伏う。  
にガれ抜見え頂撮先路前向  
かき見見頂撮先路前向



見事なシ  
およそ100  
下ったんひ池。  
らうに地いこたれ  
畔窪さはっら



終ど見  
殆朱が  
は残の  
彩り名  
期待した  
は期待した  
り、ポッ  
こちら

だが、山中の人知れず佇む静か雨宿第  
池である。降り出したトチの葉でしばし雨宿第  
張り出た100mの標高差を登っての  
2Pへ戻る。丁度昼時だが風強い  
で車内でランチを済ませます。



でけがのにだ引  
道な標け山写真した。歩  
なが導だ伏写った。歩  
展望ばる鉢り撮返した。歩  
平展れあ前至けき

さて後半の鉢伏山荘は山荘Pまで  
尾根の車道を移動する、舗装さ  
れているが狭くカーブも多い、但し  
天気良ければ眺望が素晴らしい雲上  
道路だろう。

鉢伏山荘Pでガスと強風の中歩  
きも無事に完了、お疲れ様でした。  
取敢えずは解散です、各ご安  
にお帰りください！

20分程で鉢伏山荘P(有料)に、今  
日の利用は我々だけだね。

悪天候は山だけで、下界は暑い  
暑い！盛夏の様相だった。  
次回の下見でいいよ！とアリガ  
タイお言葉もいただいたので、次は  
からの眺望を期待  
しましょう。

Pの登山口案  
内から僅かで、右か  
左右の分岐を、右か  
に本峰に向かはなり  
う、ガスと風はなり  
収まるの、彩りが多  
いもえの、レンガ多  
を添えが俄然がま  
ッツジがい園をが  
迎え霞む花の  
に霞む花の



日本一の  
シャッターポイント  
高ボッチ山頂 1,665m

(記 & 写真・涌井 良明)  
(写真提供・石原 勝正)

※高ボッチとは日本各地に残るダイダラ  
ボッチ(巨人)伝説で付近に残る窪地が  
その足跡ではないかとのことから呼ば  
れるようになったとか???

※※ mamma mia!(伊) (=oh my God!)

を霧零て  
盤はなれ  
終る晴  
、れ想  
た現幻  
ったま  
なまる  
くだま  
をだま  
園をが